

2023 な な さ と

㊦るほど ㊦っとく ㊦あ ㊦りくむぞ！やって伸びる七里っ子！

R6. 1. 9 (火)
第60号
文責：校長 川添
七里小学校

たのしいことがいっぱい つまった1年になりますように！

このように願いながら、辰年に当たる2024年のスタートを迎えた元日の日の夕方、突然飛び込んできた能登半島地震の速報！翌日には羽田空港で航空機事故の発生！テレビの映像に映し出される甚大な被害状況を目にするたびに、心が痛みました。

被災された方々に一日も早く平穏な日々が戻ることをただただ願うばかりです。また、大きな被害が中山間地域や沿岸地域に集中した能登半島地震からは、南海トラフ地震に対する備えをさらに強化することを教えられたような気もしました。



さあ今の学年の締めくくり！3学期のスタート！

14日間の冬休みを終え、学校では、今日から3学期がスタートしました。3学期は**1年の締めくくりの学期**であるとともに4月から始まる**新しい1年の準備の学期**でもあります。ただ、そんな重要な学期ですが、登校日数は1年で一番少なく**51日**（6年生は50日）しかありません。明確な目標と見通しを持って、どの子にも1日1日を有意義に過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様、今学期も子どもたちの成長のために手を取り合ってがんばっていきましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。

かかしコンテスト表彰式(12月25日)



私が、第1位に輝いた「**畑のマドンナ弥生ちゃん**」です！素敵でしょう♡

私は、第3位に選ばれた「**畑の妖精キャサリン**」よ！うふっ♡

副賞及び参加賞として 13,000 円分の四十町共通商品券をいただきました。12月26日のPTA役員会で話し合い、PTA予算と合わせて、2月17日(土)の行事の中で、子どもたちに還元することに決定しました。お楽しみに！賞状は玄関の方に掲示しています。



サンタとトナカイの登場に大興奮の子どもたち！



2学期終業式の日、七里小にサンタと2頭のトナカイがプレゼントを持ってやってきてくれました。今回、プレゼントの中身は各担任が子どもたちの喜び顔を想像しながら悩みぬいて考えました。

ただ、受け取った時はどの子も大喜びだったのですが、子ども同士で中身を見せ合った時、「そっちの方がいいな」ということもあったそうです。「同じような物がよかったのでは？」というご意見もいただきました。来年度この企画がPTAで予算化された場合、役員会にも諮って中身を考えたいと思います。

1月4日付高知新聞に、ど〜んと掲載されました！

以前お知らせしていました「第23回森や自然についての子どもの作文コンクール」において2023年山の大賞に輝いた5年生の青木朝陽さんの作品が1月4日付の高知新聞に写真付きで掲載されました。坂本仁さんが撮影したドローン映像を見て、自分が住んでいる地域の美しさに初めて気が付き、感動し、この美しさをいつまでも大切に见守りたいと思った朝陽さん！

本校がユネスコスクールとして大切にしている柱の一つに「**自分が生まれ育っている七里のよさに気付き、大切に思う**」ことがあります。それは、まさに朝陽さんの作文のタイトルにもなっている「**七里に生まれてよかった**」という思いです。ぜひご家族でお読みください。きっと七里のことが今まで以上に好きになるはずです。

「七里に生まれてよかった」
四十町立七里小学校
五年 青木 朝陽

電子黒板に映し出されたユーチューブの映像に、くぎづけになっていたのは、思わず、「ここって、絶対に田舎の自然きれいなランキン第一位の場所や。」とつぶやいた。それは、何となく私たちの住む七里をドローンでさっえいしたものだ。上空から見ると田んぼの水はすき通り、水面には雲や周りの山の水が映っていた。植え付けられたばかりの稲の緑色が重なる朝陽の朝陽の山の上から朝陽がふりそそぐ様子は、絶景としか言いようがない。こんなにきれいな場所自分が住んでいることに感動し、(七里に生まれてよかった)と心の底から思った。

春に遠足で行った三ヶの川が映った時、流れる水の音や川を泳ぐ魚の姿を思い出した。ぼくは、川原で見つけた平らな石を使って、友達と水切りをした。ぼくの投げた石は、ピンピンと水面を走り、六回はねた。水切りの次は、周りに落ちていた竹の棒の先をわって、筆のようなものを作った。それに川の水を付けて、大きな石に絵を描いた。三ヶには、ブランコもすべり台もサッカーゴールもない。でも、ぼくたちは、いつも時間を忘れて夢中で遊ぶ。

映像の中には、四年生の時、四十町財団の神田さんに習いながら水生生物調査を行った勝賀野川も映っていた。たしかにサワガニ、ヒラタカゲロウ、カワゲラなど十三種類の水生生物を見つけ、その水質がきれいであることを証明することができた。ぼくの住む七里は、山や川から出されるマイナスイオンたっぷりの自然豊かなユートピア。その中で、人も魚も全ての生き物が元気に暮らしている。そんなことを、ドローン映像が気付かせてくれたように思う。ぼくは、この美しい七里の自然をいつまでも大切に見守り続けたい。



左から、古谷敬輔さん、林新大さん、青木朝陽さん、青木朝陽さん、甲斐日さん、坂本仁さん、河野城人さん、沖田悠成さん